

大項目	理科
小項目	磁石③
タイトル (教材名)	磁石で魚釣りゲーム、磁石で缶運びゲーム
目的 身につけてほしい力	(1) クリップに磁石をくっつけて魚釣りゲームをする。 (2) スチール缶に磁石をくっつけて缶運びゲームをする。
教材の概要 材料 作り方 工夫点など 画像	<p>(1) 魚釣りゲーム</p> <p><準備物></p> <p>○魚作り：魚介類のぬり絵に色塗りやシール貼りをする。色画用紙を台紙にしてラミネートしクリップをつける。はずれないようにセロテープでクリップを止めておく。</p> <p>○さお作り：園芸の支柱やおはしなどにタコ糸をつけ、磁石をつける。棒や糸の扱いが難しい児童生徒のために、おたまやおはしに直接磁石をつけることで、持ちやすくしたり磁石に付けやすくしたりする。</p> <p><遊び方></p> <p>○ルールの確認：さおを人に向けないなどの安全面についてや、手で取らないなど。</p> <p>○順番に1分間で何匹釣ったかを競う。</p> <p>*釣りが難しい児童生徒は、手で直接取って、ホワイトボードに貼りに行く活動も入れる。</p> <p>(2) 缶運びゲーム</p> <p><準備物></p> <p>○スチール缶適量：飲み口にビニールテープなどを貼って危険個所がないようにする。</p> <p>○おたまやおはしに磁石をつけたもの、またはU字や棒磁石 (落ちにくいように磁石の強度に配慮する。)</p> <p>○缶を入れる段ボール箱やたらいなど</p> <p><遊び方></p> <p>○ルールの確認：缶を蹴ったり倒さないように注意、缶を手で運ばないなど。</p> <p>○缶が転がらないように立てて置く。少人数のグループで1分間で缶を何個集めたかを競う。</p> <p>*1グループの人数が多くなると、足などに缶が転がりケガの危険性があるので、缶の量、人数などの調整を行う。</p>
教材の使用法	上記記載
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が好きなキャラクターの絵が描かれた缶を使用したのもので、ゲーム参加への意欲がわいたようだ。 ・磁石のしりぞけ合う力で、缶転がしゲームもできる



